

節目祝い、更なる発展期す

団結し頑張っていこうと挨拶する福田
理事長＝鹿児島市の鹿児島東急ホテルで

急ホテルで「組合創立40周年記念式典及び祝賀会」を開催し、来賓や特約店メーカ、会員ら関係者約90人が出席して、節目の年を祝うとともに更なる発展を誓い合った。

記念式典の冒頭、福田理事長が「この40年間を振り返ると、昭和38年に組合員数153人で創立し、同56年には497人という全国的にもまれに見る大きな組合であった。

を胸に、業界発展に寄与したい」と謝辞を述べた。

40年という節目ではあるが、経済動向の悪化や、気低迷などとでわれわれの活動の旗の中にも立てた。現在の組合員数は、数十名の現状である。これからは危機感をもつて、組合員一人ひとりを、意識的に向上させ、改革を図り、信頼と和の連帯感を持つて団結し、新たな発展期として頑張っていく。

と挨拶。続いての永年勤続表彰では、受賞者として、代表として南中郡副知事、の久松一男さんに感謝、と記念品が福田理事長長から授与され、久松さん「身に余る光栄。今後、

の組合として組合員相互の経済的発展の向上を図り、業務の発展に大きく貢献してきてきた。協同組合の神に治って組合員相互に団結し、尽力してきたものを、と祝辞を述べた。物」を代表し、浜島淳、日本板硝子(株)日本支社長代理が「組合が主導となって行われた日中の展示会は全国でも先駆的な取り組みで意義あるものであった」と述べた。

われわれは放っている品を自覚を持って提供してこよう」と言葉を寄せた。

続いて行われた記念式典では、大田昌國創設40周年記念委員会委員長「これまでの40年間の史を振り返るとともに、後への希望を語りたい」と挨拶し、順次、特約店を代表してハラ／＼の最上茂樹社長のもの

犯ガラスなど

杯の首頭で祝賀。修った参加者は、長き時間思い出たに花を添え、下山後彦支店長の万々叫で締めくくった。

永年勤続者表彰は、

岩崎修一(株)越前子
久松一男 地所跡雄健
中郡子 川尻保則

飯屋益夫 松田健雄

ネ、在宅介護 シックウエス問題に対応した花を添え、下山後彦支店長の万々叫で締めくくった。

永年勤続者表彰は、

岩崎修一(株)越前子
久松一男 地所跡雄健
中郡子 川尻保則

見・著明 上野重博(岩手県)
年次(工業) 湯田商會(中森)
次雄(富山)田子商會(司
指修一郎 宮崎昭雄
福正人 森修一(徳重力
ラス店 中野幸弘 金井
弘美(南荒木 藤田眞理子
三 中道アルミ建築 篠原
の 柳雄 海陽アルミ(山下鶴子
建材(株) 新留昭宏(新留力
ラス店 竹野義輝(株)かが
み屋硝子店) 中村伸一
深 (南)モリ硝子店 田中英
明・東亜建設(株)

県9月議会の代表質問(2日目)
**谷山農業試験場
 跡地利用計画等**
 県9月議会の代表質問が始まりました。24日は午前9時の部で二年校正正

展示会協力会社は次の通り。
 獅子特約店(株)加根又
 本店(株)小園田商会
 (株)ハラマ(株)藤野メー
 (株)ミヤコ(株)ズート

議員が総合計画第1期
実施計画の議題と議
決して入札制度の改革
鹿儿岛湾アル1計画
維持と見直しなどに
いて賛同。午後の部
は成尾信春議員が来
政評審細成方実施
取捨評価制度の美
共工事の入札、谷山
農業試験場跡地利用
中小企業支援等につ
て賛并を求める。

サヒと製鐵(宝鋼機マ
ツシメカー)三協ア
ミウム工業(新日
立山アルミウム工
業)トステム(不

記念式典・祝賀会に
立ち、鹿児島市の鹿児島
総合卸商団地組合会館
「暮らしの安全を提案
るガラス・サッシフェ
ス in KAGOSHIMA
A」と題して防犯セミ

一般入場者ら250人
会場に足を運び、最新
防犯対策が施されたガ
ス・サッシをはじめ県
の窃盗犯罪の傾向や対

く見られたほか、ソフ
ボールで強化ガラスを
損させるコーナーで
破損させたら粗品がも
えるということもあつ
多くの来場者が挑戦。
命にボールを投げるも

[illegible]

ス22で

▽セキユリティⅡセキ
リティサービス(株)

なり、若い女性建築士が増加しているが、前向きの気持ち忘れず、努力すれば結果は必ずとつてくる」と提言し、「女性の時代といわれ

のネーミングワークを生かして、勉強すること
で得られる貴重な体
験ができることは大
きな魅力です」と、
積極的な活動参加を
呼び掛ける。

通う放送大学学生生活は1年後には卒業の見込み。趣味は、小柄な風貌からは意外ではあるが、「人

今回の大展示会は、周年記念の節目に初め開催されたもので、今題のガラス・サッシ等防犯対策や高断熱・省

また、会場では午前
午後2回にわたって
警察本部生活安全課が

来場者でにぎわった会場
＝鹿児島市のス

業開発キャンペーンの協賛店（アクション店）として、19社の工務店が賛同。最新のキッチンやバス・トイレ、内外装商品、外壁、瓦のほか、太陽光発電を生かしたエ

(出)日本建築士会連合
会女性委員会九州プロ
ック代表として、九州
各県の女性委員会を主
とめ、10月に宮崎市で
開催される建築士会全
国大会に向け、その準
備等に多忙な日々を送
っている。

前県建築士会女性部
会長。部会発足から簡
目の10年目である今年

6月、着実に歩み続け活動範囲が拡大し、順調に実績を上げ軌道に乗りつつある部会長職を久木田洋子氏（旬）リアフリホーム）へバトンタッチし、部会相談役として女性部会を支えている。

女性部会員は現在、発足当時から3倍の会員数（約100人）と

て久しいが、限られた時間でもそれぞれの仕事をこなし、夢を実現していくことは大変ですが、建築士会員として、女性部会員として、そ

世元の高校を卒業後、
 入来町役場勤務を経て
 佛備藤中山設計へ。
 当時の所長であった
 衛藤三郎氏から教
 養と技術を、現中山
 克巳社長には人との
 接し方を学んだと述
 懐。周囲の方々に
 対する感謝の気持ち
 を胸に、巡り合いを
 大切にこれからも努
 力していきたい。

も時間不足でなかなか上達しないのが悩みだとか。今後はIT社会の波に乗り遅れないように、「パソコンをもっと使いこなしたい」と、ますます意欲的だ。

（鹿島邦友・報道部主任）



最新の商品に興味を示す家族連れ

「ハウズフェア」
地元 仕事づ
工務店
松下電工(甥)南九州住設
建材営業所(田辺英樹所
長)は20、21日の2日間、
鹿児島市のスペース22で
N.A.I.S.新築・増改築展

「**くりを支援**」
 松下電工

を開催、多くの家族連れ、
 ら約2000人が訪れ、
 終日にぎわいをみせた。
 同フェアは、地元有力
 工務店などの仕事づくり
 多

され、各ブースで多数の
人垣ができ、スタッフの
説明に耳を傾けていた
なわ、2日間で501名
帶來場した。

田辺所長は「仕事が年
々減少してきている中
これからはリフォームが
中心となっていくと予想
される。この展示会を通
じて新たな仕事をくりに
生かしていただければ幸
いです」と語った。
